

JIS

締結用部品ー プリベリングトルク形鋼製ナットー機能特性

JIS B 1056 : 2019

(JFRI/JSA)

令和元年 11 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥野 麻衣子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌田 実	東京大学
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	榎 徹雄	東京都市大学
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和 迹 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 62.3.1 改正：令和元.11.20

官 報 掲 載 日：令和元.11.20

原 案 作 成 者：日本ねじ研究協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3436-4988)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 記号	3
5 ねじ	3
6 潤滑	3
7 プリベリングトルク形ナットの機械的性質	4
8 プリベリングトルク性能に関する要求事項	4
9 試験方法	12
9.1 一般	12
9.2 保証荷重試験	12
9.3 プリベリングトルク試験	12
附属書 A (参考) 非金属インサート付きプリベリングトルク形ナットの温度特性試験	17
附属書 B (参考) 総合摩擦係数 μ_{tot} の求め方	18
附属書 C (参考) 強度区分 8 及び強度区分 10 における M3 及び M4 のプリベリングトルク形ナットの 試験締付け力及びプリベリングトルク	19
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	20
解 説	22

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ねじ研究協会（JFRI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 1056:2011** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

締結用部品—プリベリングトルク形鋼製ナット— 機能特性

Fasteners—Prevailing torque steel nuts—Functional properties

序文

この規格は、2015年に第5版として発行されたISO 2320を基とし、我が国における使用の実態を反映するため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、10℃～35℃での環境温度範囲で試験したときのプリベリングトルク形鋼製ナットの機能特性について規定する。

この規格には、プリベリングトルク特性及び締付け特性としての総合摩擦係数を求める試験方法を含む。

この規格は、次の全金属製プリベリングトルク形ナット及び非金属インサート付きプリベリングトルク形ナット（以下、ナットという。）に適用する。

- ねじの基準山形は、JIS B 0205-1による。
- ねじの呼び径とピッチとの組合せは、JIS B 0205-3による。
- M5～M39の並目ねじ及びM8×1～M39×3の細目ねじ。
- ねじの公差は、JIS B 0209-2による。
- 機械的性質は、JIS B 1052-2による。

この規格で規定するプリベリングトルクの値は、実験室での試験条件に基づくものである。

注記1 実使用におけるプリベリングトルクの値は、変わることがある。

注記2 全金属製プリベリングトルク形ナットは、-50℃～150℃の温度が使用範囲である。

注記3 非金属インサート付きプリベリングトルク形ナットは、-50℃～120℃の温度が使用範囲である。この温度範囲外では、機能特性（トルク及び軸力、プリベリングトルク特性）に影響を与える可能性がある（附属書A参照）。

注記4 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 2320:2015, Fasteners—Prevailing torque steel nuts—Functional properties (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。